

HAPPINESS サッカースクール

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>ハピネスには、2歳から15歳までの子供たちが所属しています。着なくなったスポーツウェア・サイズアウトしたスポーツウェアを、各世代で譲り合う、「HAPPINESS LOOP活動」を季節ごとに定期開催しています。各世代がみんなで譲り合うことで、家庭内のごみを減らすことができます。譲り合うことで、物を大切につかう心も芽生えさせます。チーム内で取り組むことで、SDGsへ貢献している意識の醸成がうまれます。また、サッカーを通して子供たちの成長を促します。まずはチームで保有する酸素ハウスにて、疲労回復、ケガの回復、生活習慣病の予防、視力回復などチームに所属する生徒や保護者は格安にて利用することができます。地域の方々も利用できるようにしています。そして、食事の面でも、ジュニアスリートフードマイスター資格を保持する代表が、トレーニング前後や試合前日、栄養の面、食事の面でも生徒をサポート。地域に根付いたチームであること。さらに、地域から応援されるチームであること。その想いを背負いサッカーをすること。を理念に掲げ、地域の企業さんにスポンサー・協賛協力をして頂いています。企業さんが応援してくれていることを理解してピッチに立つてほしいという想い。地域企業と地域スポーツチームが協働する取組の一環です。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 1, 4	季節ごとに、不要になった服をリデュース・リユース・リサイクル。	年2回、独自の「HAPPINESS LOOP活動」の実施。
	社会 3	健康促進、ケガ・病気の予防。	チームで保有する酸素ハウスで、週1回程度メンテナンスを実施。また、年2回健康促進のための栄養指導にて、生徒をサポート。
環境 1 7	地域に根付いたチームの形成。	サッカーを通じた地域企業との協働として、年1回イベントとして大会を開催。	